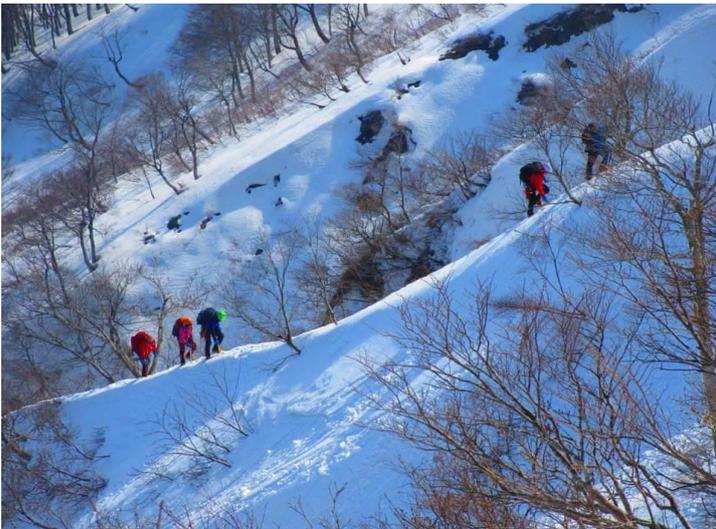


# 山行報告書

日時	2019年3月2日(土)3日(日)		天候	晴れ
山名	第11回登山学校 伯耆大山			
CL	T藤	参加者	T野・N川・O久保・O崎 (5人)	
(コメント)	<p>一日目 大山寺登山口8:00—元谷小屋8:30—弥山避難小屋11:20 12:15          —大山寺登山口14:30          二日目 大山寺登山口7:40—元谷小屋付近8:20 9:30—大山寺登山口10:15</p> <p>21時前、待ち合わせ場所の古賀SA上りからスタートしました。          今回は5名での山行です。          ○○SAにてテン泊して6時頃に再度出発し、到着したのは7時頃、宿に駐車させていただき、即登山開始しました。          長い石畳と石の階段を上り大神山神社に到着、全員で山行の無事を祈りました。          そこをすぎるとすぐ雪道になりガラガラとした上りが続き、8時30分頃避難小屋に到着、ヘルメット、アイゼン、ハーネスを装着していざ出陣。          行者谷沿いに砂防ダムを越えながら登りました。          砂防ダムをいくつも越えて登った先から尾根に入り、急な上りを時々雪から突き出た藪をかき分け進みました。          考えてみれば12本アイゼンを初めて履いたのは先月の奈多海岸、ピッケル持って砂の上をいったりきたり、あれ以来2度目の12本アイゼン、いきなりキックステップとピッケルをフル活用しました。          嬉しいあまり必要ない箇所でもキックステップ、ふくらはぎはつきりそうになりました。          しかし、T野さんは歩行は早く、それにO崎さんもついて行く、O久保さんとT藤さんは私の後ろで「急がなくても良い」と優しく声をかけてくれます。          私はすっかり遅れてしまいお二人を何度も待たせてしまう始末、普段の登山と全く違う筋肉を使ったのだろうか、ふくらはぎや太ももが悲鳴を上げているようでした。          やっと10時40分頃稜線沿いの夏道に入りましたが、ほとんどのエネルギーを使い果たした感じで、夏道に行くにも途中で足が進まなくなりました。          しかし景色は最高、天候も良く風もない快晴でした、頂上に着いたのは11時20分頃、人はかなり多く混んでましたが、最高の天気にも恵まれました。          小屋の傍で食事を済ませ下山開始、6合目避難小屋から再度夏道を外れて行者谷沿いに下山、天気が良かったためか雪が柔らかく、かなり足を取られました。          途中ピッケルを使った滑落防止訓練を行いました。          14時30分頃無事下山、良い体験でした。          2日目は避難小屋付近まで行き、雪山登山でのビレイの方法などを教えていただきました。          この日は午前中で帰路につきました (記 N川)</p>			



費用概算

(交通費/1人)高速代・ガソリン 約10000円 宿8300円  
(その他/人)

(2015.04.09改訂)